

## 令和5年度第2回「千葉県スポーツ推進審議会」における委員意見への対応について

## 【報告事項】

No.	項目	委員意見	対応	担当課
1	部活動地域移行について	地域指導者講習会において、指導者の資質向上を目指すところがあるが、質の担保については非常に大切な点である。	昨年度の講習会では実技指導を通じた指導技術の伝達だけでなく、効果的な指導プログラムの提供や指導にあたっての科学的根拠やコンプライアンス等についての講義をプロチームの協力を得て実施しました。	保健体育課
2		「ちばクラサポ」ではeスポーツの指導者も登録できるが、eスポーツでは、これまでのフィジカルスポーツとは違った目線が必要になるため、専門家の意見を踏まえながら、人選を行っていただきたい。	ちばクラサポは県内の地域クラブや公立学校の部活動等において指導の協力をいただける方に登録してもらっています。eスポーツをはじめとする多様な活動の実施が考えられ、種目設定にあたっては適切な人材及び環境等を総合的に勘案して慎重に検討するよう市町村へ依頼していきます。	保健体育課
3		地域移行した部活と移行していない部活が混在することになり、学校内における部活間格差が危惧されるが、どのように考えているか。	休日完全移行までは混在することになりますが、保護者、生徒等に理解を得られるよう、丁寧に説明することを市町村に助言していきます。	保健体育課
4		地域に移行したときに持続可能性が高まるのかどうかという点をしっかりと議論していただきたい。	各市町村が統括して持続可能な運営団体が構築できるよう、全国での好事例や県内での実証事業の成果を共有していきます。	保健体育課
5		人材バンクについては、有効に活用されている事例は少ない。今までと同じようにやっていくのではなく、オンライン等、多様な指導の形態というものを想定して、今までになかったような視点も含めて、施策を行うことが大切である。 オンラインコンテンツの活用について積極的に考えるべきである。また、大人側が知見を深めていかなければならない。	人材バンクが有効活用されない要因を調査するとともに、御意見を参考にオンラインコンテンツの活用など新たな形態を模索していきます。	保健体育課

## 【協議事項】

No.	項目	意見	対応	担当課
1	A-1 幼児期の運動実施率について (報告書 P5)	家庭教育リーフレットといった情報発信を、ホームページ、SNS、オンデマンドといったコンテンツでさらに発信していくと、さらなる目標に近づけるのではないか。	「家庭教育リーフレット」については、引き続き、ホームページでも掲載、周知します。また、「家庭教育相談担当者協議会」や「家庭教育支援員等のための家庭教育研修講座」において、市町村の家庭教育支援担当職員や家庭教育支援員等に周知します。	生涯学習課
2		千葉県内、各市町村にある公園の活用の仕方として、「この遊具にはこういった運動能力に関係する」ということを盛り込んだリーフレットを配信すると有意義ではないか。	リーフレットの配信について検討してまいります。	公園緑地課
3	A-2 体育の授業が楽しいと感じる割合 (報告書 P6)	事業において、プロスポーツチーム等、様々な外部の団体と連携する際は、子どもたちが楽しいと感じるツボやなぜ苦手だと思っているか、深掘りしたところも、コミュニケーションの中で連携させていただきたい。	ちば夢チャレンジかなえ隊の実施後アンケートやトップ・プロスポーツ連絡協議会等の機会に得られた意見を、円滑な事業実施に生かしていきます。	生涯スポーツ振興課 (生涯スポーツ室)
4		千葉県だと 40 代の先生が少なく、指導力のある先生は、教育委員会に行ってしまうことによって、学校現場では指導経験ある人が少なくなっている。 先生方の引き出しの数が少ないため、どうしたら良いか分からないと聞く。課題に対するコンテンツを先生や学校に共有していくと、改善に至るのではないか。 同時に、学校医のように先生方をサポートするような、体育スポーツ及びコンディショニングに関する相談窓口のようなものを設立するのもよいと考える。	先生方が授業を行う中で感じる課題に対する相談体制などを今後も検討していきます。	教育政策課
5		運動が苦手だから楽しくないという子たちの心理としては、優劣をつけられることが一因ではないか。 評価は大事ではあるが、まずは体力階級を作らないことも大切ではないか。	学習指導要領では、他者と比べるのではなく自分の課題に対してどのように取り組み、どうなったかを学ぶようになっています。体力の向上も含め、スモールステップでの成功体験ができる授業づくりを研修会等で指導しています。	保健体育課

No.	項目	意見	対応	担当課
6	A-4 運動部活動満足度 (報告書 P8)	地域移行が進んだ際にも、配置された部活動指導員には、引き続き、その部活を担当してもらうという考え方なのであれば、そうした立場を明確にした方が良い。	同一人物が部活動指導員と地域クラブの指導者を兼ねる場合の注意点として、身分の整理が必要な旨を総括に記載しました。	保健体育課
7		部活動を地域に移行するという事に注目が集まっているが、地域スポーツ改革でもあるため、部活動の地域移行を引き受けることを可能とするような、地域のスポーツ環境づくりについても、県としての考えを記載すべき。	関係団体と連携しながら、地域クラブ活動を推進していくと総括に記載しました。	保健体育課
8	B 週1回程度のスポーツ実施率 (報告書 P10)	健康増進がビジネスパフォーマンスに関係することから、企業研修のプログラムの中に取り組みのも一案ではないか。 1人ではなく、集団だとスポーツに取り組む環境が作られる。	ご意見ありがとうございます。企業研修のプログラムにおけるスポーツの関わりに注視してまいります。	生涯スポーツ振興課 (生涯スポーツ室)
9		「減少した要因としては、新型コロナウイルス感染症流行による運動機会減少の影響が残っていると考えられる」とあるが、新型コロナウイルス感染症の蔓延時に、限定的に形成された運動との関わりが、元に戻ってしまったことによる減だと考えられる。 これから、新たなスポーツ環境を整えていく際には、個人的にウォーキングなどの軽運動に取り組んでいたのでは、簡単にスポーツライフは中断してしまう。	御意見いただいたとおり総括の内容を修正しました。	生涯スポーツ振興課 (生涯スポーツ室)
10		成人のスポーツ実施率に関して、スポーツの関わりの推移を把握していくため、どのような形態で、実施しているかを加えていただきたい。	御意見いただいたとおり、推移が分かるよう、県民の運動・スポーツに関するアンケートにて調査した結果を、グラフで記載しました。	生涯スポーツ振興課 (企画調整班)

No.	項目	意見	対応	担当課
11	C-1 パラスポーツの観戦・体験率 (報告書 P11)	パラスポーツの観戦・体験は、イベントで終わらず、一般化・日常化していくことを目指していただきたい。	ご意見ありがとうございます。 今後も各事業を通じ、パラスポーツの観戦・体験がより県民にとって身近なものとなるよう努めてまいります。	生涯スポーツ振興課 (生涯スポーツ室)
12	D-5 総合型地域スポーツクラブの認知度 (報告書 P15)	総合型スポーツクラブの認知度について、向上させることはできないか。	昨年度、総合型地域スポーツクラブの周知ポスター・チラシを各学校・体育施設に配付し、掲示への協力を呼び掛けたように、継続して認知度を向上できるよう努めてまいります。	生涯スポーツ振興課 (生涯スポーツ室)
13	D-7 総合型地域スポーツクラブ会員数 (報告書 P15)	「クラブ会員数は令和5年度の値が出ていないが、少子化等の影響もあり減少傾向は続くものと見込んでいる」とあるが、少子化の影響で、県内のクラブの数が減っているのか、あるいは運営が立ち行かなくなったクラブがあるのか教えていただきたい。 地域のスポーツ環境を活性化しながら部活動の地域移行をしていこうという中で、少子化の影響で減少傾向が続くものと、県が見込んでしまうのは良くない。	県内クラブの休止・解散の理由等については調査をしておりません。そのため、少子化の影響によりクラブ数減少、運営が立ち行かなくなったクラブがあるとは確認できておりません。 御意見いただいたとおり総括の内容を修正しました。	生涯スポーツ振興課 (生涯スポーツ室)

No.	項目	意見	対応	担当課
14	F-3 競技団体等と連携した学校訪問数 (報告書 P19)	学校訪問数が指標になっているが、オリンピック教室も楽しい体育を目指して実施しており、リンクの A-2 に非常に近いものがある。そういったところを、横串を刺した評価にすべき。 総括の書き方も、定量で、何回実施したというよりも、先生方が何を工夫し、今年度はこういう形になったというような実際に得られたアウトカムを示した方が良い。	児童生徒からは「本物の選手に丁寧に教えてもらった上で、競技を体験できたので楽しかった。今後も習ってみたい。」や「選手の体験談から、目標に向かって努力することの素晴らしさを知れた」、教師からは「体育館から教室に戻ってからも話題に上った」や「競技に対する興味・関心も深まり、今後開催されるパリ五輪も観戦すると思う。」といった感想があり、リンク A-2 「体育の授業が楽しいと感じる割合」の向上にも繋がった旨を総括に記載しました。	生涯スポーツ振興課 (企画調整班)
15		「スポーツの価値の発信」とあるが、千葉県で考えるスポーツの価値がどのようなものであるか。このページの総括の中に、スポーツの価値として「体を動かす楽しさ、できるようになる喜び」とあるが、これはその中の1つである。ここで発信するものがどのようなものか、県民に分かるようにする必要がある。	普及促進を進めるとともに、スポーツを通じた人づくり・地域づくりにつなげられるよう、スポーツを県民にとってより身近なものとするよう取り組んでいく旨を総括に記載しました。	生涯スポーツ振興課 (企画調整班)
16	その他	資料の 6 の BMI の集計方法について、小学生と高齢者を合わせた平均値を出すのではなく、痩せと普通と肥満の人の割合を、男女別で、小学生、中学生、高校生、10 代、20、30、40、50、60 以上に区分することが一般的である。来年度以降、まとめ方を検討すべき。	御意見いただいたとおり検討します。	生涯スポーツ振興課 (企画調整班)